



がんばっています！

大村市消防団

消防団は「地域防災の要」として、訓練に

励み、地域活動にも参加しています。

1年間の活動の様子を紹介します。

■安全対策課内線217

消防カレンダー



3月 防災フェア



2月 PRキャンペーン

団員確保促進のためのキャンペーンを実施しています！



11月 放水競技大会

■ポンプ車の部

優勝 3分団
準優勝 12分団
3位 1分団



■小型ポンプの部

優勝 女性消防団
準優勝 15分団
3位 14分団

8月 おおむら夏越まつりに参加



6月 水防訓練



8月 長崎県消防ポンプ操法大会

見事
準優勝

長崎県消防ポンプ操法大会ポンプ車の部で準優勝！29年ぶりの快挙でした。



Fire Fighting Spirits

平成23年消防出初式

とき 1月8日(土)、午前9時30分
ところ 市民会館

内容

○分列行進(午前11時10分ごろ)

バスターミナル〜総合福祉センター

○斉放水(午前11時45分ごろ)

大上戸川(金丸橋付近)



■午前8時に消防演習召集のためのサイレンを30秒間鳴らします。また、午前8時と放水時に煙火を打ち上げます。交通規制にご協力ください。
午前10時30分〜12時15分まで、バスターミナル交差点〜大上戸川まで一般車両など通行できません。



男女消防団員を募集中です。

消防団は、サラリーマン、自営業、公務員、主婦、学生などさまざまな人たちが集まり「まちを守る、安心を守る」ため活動しています。

- ◆市内に住む18歳以上の男女で、心身ともに健康な人ならどなたでも入団できます。
- ◆消防団員は、非常勤特別職の地方公務員です。
- 大村市消防団員数641人(うち女性17人)H22.12.1現在
※定数700人

ハイ!こちら119番です!

■大村消防署 ☎4138

住宅用火災警報器を設置しましょう!

近年、住宅火災による死者数が急増し、特に死者の半数以上が高齢者です。また、7割の人が「逃げ遅れ」が原因で亡くなっています。その理由として、住宅火災の多くが、夜間の就寝中に発生しているということです。

火災警報器を設置することで早めに火災の発生を知ることができ、逃げ遅れずに助かる可能性が大変高いことから、設置が義務付けられました。

大切な命を火災から守るために
早めの設置をお願いします。

大村消防署管内の設置率は、
現在約74%です。



救急車の適正利用に

ご協力ください。本当に緊急ですか?



救急車は、けがや病気で急いで病院に搬送しなければならない傷病者のためのものです。緊急ではないのに要請すると、本当に必要とする事故や急病が発生した場合、救急車がいなかったり、到着が遅れたりして救える命が救えなくなる恐れがあります。救急車の適正利用にご協力ください。

出場件数(大村署、宮小路分署管内)	
H22.11月末現在	2,762件
H21年中	2,930件
H20年中	2,960件



台所器具は正しく使いましょう!

正しく使って、火事や事故を起こさないよう心がけましょう!



IHクッキングヒーター

変形した鍋は
使用できません!



すべてに安全装置がついているIHクッキングヒーターは火を使わないので安全のように思えますが、使い方を間違えると火事になることがあります。その原因は鍋などが変形している場合で、鍋底に凸凹があると温度センサーに接触せず、この状態で油を入れて加熱すると安全装置が作動しないまま過熱状態が続き、鍋の中の油が発火し火災につながる場合があります。

電子レンジ

間違った使用方法で事故や
火災が多発しています。



電子レンジは、マイクロ波といわれる電磁波の一種が食品の中の水分温度を上昇させる仕組みになっています。

例えば、水分が少ない野菜を少量調理したとき、短時間で水分が蒸発し炭化が始まり、さらに加熱することで野菜が発火しレンジが燃えてしまったという事故や、カップに入れた飲み物を温めたときに、高温の液体が急に飛び出す「突沸現象」によるやけどなどの事例も発生しています。